

議 事

(1) 第2次岡山県スポーツ推進計画の策定（素案）について

- ア 第2次岡山県スポーツ推進計画（素案）の概要 P 1
- イ 第2次岡山県スポーツ推進計画（素案） 別冊
- ウ 数値目標（案） 別紙
- エ 数値目標検討 別紙
- オ 第2次岡山県スポーツ推進計画（素案）ご意見への回答
. 別紙

(2) 第2次岡山県スポーツ推進計画の策定スケジュールについて

. P 7

(1) 第2次岡山県スポーツ推進計画の策定（素案）について

第2次岡山県スポーツ推進計画（素案）の概要

<第1章 計画の概要>

1 策定の趣旨

人口減少・長寿社会の到来、ライフスタイルの変化、新型コロナウイルス感染症による影響からの回復、東京オリンピック・パラリンピック「スポーツ・レガシー」の継承・発展など、スポーツを取り巻く環境の変化と国の「第3期スポーツ基本計画」策定（令和4（2022）年）等、策定の趣旨・背景の記述

2 計画の位置付け

スポーツ基本法第10条に定める「地方スポーツ推進計画」であるとともに、岡山県スポーツ推進条例第7条に定める「県スポーツの推進に関する施策を総合的かつ計画的に実施するための計画」

3 計画の期間

令和5（2023）年度から令和9（2027）年度までの5年間

<第2章 スポーツの現状>

1 スポーツを取り巻く社会の変化

(1) 人口減少・長寿社会の到来

少子化の進行、高齢化率の上昇、高齢者人口も減少する人口減社会の到来等について記述

(2) ライフスタイルの変化

様々な技術革新の急速な広がりによる、働き方や生活様式等のライフスタイルの変化について記述

(3) 新型コロナウイルス感染症による影響からの回復

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により減少したスポーツを楽しむ機会の回復等について記述

(4) 東京オリンピック・パラリンピック「スポーツ・レガシー」の継承・発展

東京オリンピック・パラリンピックを契機とした共生社会の実現、多様な主体によるスポーツ参画の促進、県民のスポーツへの関心の高まりを生かした地域活性化等について記述

2 スポーツの意義

スポーツ基本法の前文に定めるスポーツの意義、新型コロナウイルス感染症の影響と東京オリンピック・パラリンピックの開催を通じて再認識されたスポーツの価値等について記述

3 スポーツ推進計画（改訂版）の進捗状況

4つの基本施策17項目の数値目標の進捗状況について記述

<第3章 岡山県が目指す姿>

1 目標

『スポーツ立県おかやま』の発展

～誰もがともに「する」「みる」「ささえる」スポーツで明るい笑顔の生き生き岡山～

2 施策体系

基本施策Ⅰ 「多様な主体におけるライフステージに応じた運動・スポーツ活動の機会創出」

～多様な主体が参画できる生涯スポーツの推進によるスポーツ人口の拡大と生きがい・元気づくりの創出～

基本施策Ⅱ 「アスリートの育成と持続可能な指導・支援システムの構築」

～競技スポーツの推進によるチーム岡山競技力の向上～

基本施策Ⅲ 「スポーツを通じたともに生き豊かさが実感できる地域の創造」

～東京オリンピック・パラリンピック「スポーツ・レガシー」の継承及び共生社会の実現と地域の活性化～

基本施策Ⅳ 「スポーツ環境の整備」

～「ハード」「ソフト」「人材」の充実～

3 数値目標

計画期間中に達成しようとする数値目標（15）を設定

<第4章 基本施策>

別紙体系図のとおり

<第5章 計画の進め方>

1 「スポーツに親しみ、スポーツを楽しみ、スポーツを支える」取組への参加に向けて

「スポーツ立県おかやま」の発展に向けて、県民に期待される取組、県・市町村・学校・スポーツ団体等の役割について記述

2 進捗状況の管理

計画の進行管理について記述

基本施策Ⅰ 多様な主体におけるライフステージに応じた運動・スポーツ活動の機会創出

～多様な主体が参画できる生涯スポーツの推進によるスポーツ人口の拡大と生きがい・元気づくりの創出～

(具体的施策の方向性)

(今後の施策展開) ※「●」は新規または拡充

統合

1 子ども・若者の運動・スポーツ活動の推進

- 幼児期からの運動習慣形成支援
- 子どもにとって適切なスポーツ環境の確保に向けた取組の推進
- 広域スポーツセンター、総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団や民間スポーツクラブ等との連携
- トップクラブチームと連携した取組
- スポーツ少年団活動の活性化

統合

改題

2 働く世代・子育て世代、高齢者の運動・スポーツ活動の推進

- スポーツを通じた健康増進（「第2次健康おかやま21」との連携）
- おかやまマラソンを通じた元気づくり
- 子育て世代が参加しやすいスポーツ環境づくり
- スポーツを通じた高齢者の健康づくり

3 学校における体育・スポーツ活動の充実

- (1) 子どもの体力向上に向けた取組
- 統合
- 新体力テストの結果を活用した体力向上の取組の推進
 - 運動の習慣化を図る取組の推進
 - 体育授業の充実・改善と教員の指導力の向上
 - オリ・パラ教育の知見・経験等を生かした教育活動推進
 - 学校体育関係団体における各種活動への支援

(2) 運動部活動改革の推進

新規

- 子どもにとって適切なスポーツ環境の確保に向けた取組の推進【Ⅰ－1再掲】
- 「運動部活動の在り方に関する方針」に基づく適切な運動部活動の推進
- 体罰をはじめ不適切な指導等の根絶

4 障害のある人の運動・スポーツ活動の推進

- (1) 障害者スポーツへの理解と参加機会の確保
- 障害者スポーツの理解促進
 - 県障害者スポーツ大会の開催及び全国障害者スポーツ大会への派遣
 - 障害者スポーツ教室の開催

(2) 障害者スポーツの指導者の養成やボランティアの参加推進

- 障害者スポーツの指導者の養成
- 障害者スポーツボランティアの参加推進

基本施策Ⅱ アスリートの育成と持続可能な指導・支援システムの構築

～競技スポーツの推進によるチーム岡山競技力の向上～

(具体的施策の方向性)

(今後の施策展開) ※「●」は新規または拡充

1 アスリートの育成・強化

- トップアスリートの強化
- トップを目指すアスリートの強化
- 国民体育大会(国民スポーツ大会)に向けた強化
- 第79回国民スポーツ大会冬季大会に向けた強化

統合

2 アスリート育成パスウェイの構築

- アスリートの発掘・育成
- 学校と地域の連携による競技力向上への取組
- アスリートのキャリア形成支援
- アスリートの県内就職促進

新規

3 指導者の育成・資質向上

- 指導者の育成とその資質の向上
- スポーツ指導における暴力・虐待等の根絶

上記1～に3 障害者アスリートに関する事項も記載のうえ、
可能な限り「再掲」とする。

4 障害者アスリートの育成と支援体制の構築

- 障害者アスリートの育成・強化【Ⅱ-1再掲】
- 障害者アスリート育成パスウェイの構築
- 障害者スポーツ指導者の育成・資質向上【Ⅱ-3再掲】

新規

5 アスリートの安全・安心の確保

- スポーツ事故・スポーツ障害の防止
- スポーツ医・科学の取組支援
- スポーツ指導における暴力・虐待等の根絶【Ⅱ-3再掲】
- アスリートに対する誹謗中傷の防止
- ドーピング防止の啓発
- スポーツ団体のガバナンス強化・コンプライアンス徹底

基本施策Ⅲ スポーツを通じたともに生き豊かさが実感できる地域の創造

～東京オリンピック・パラリンピック「スポーツ・レガシー」の継承及び共生社会の実現と地域の活性化～

(具体的施策の方向性)

(今後の施策展開) ※「●」は新規または拡充

移動・改題

1 地域と連携した運動・スポーツ活動の推進による共生社会の実現

- 総合型地域スポーツクラブの創設や充実への支援
- 広域スポーツセンターの機能充実
- スポーツ・健康まちづくりの推進

改題

2 大規模スポーツイベント、合宿等を通じた地域活性化

- 大規模なスポーツ大会等の誘致、開催支援
- おかやまマラソンによる情報発信と地域経済の活性化
- スポーツツーリズムの推進

3 トップクラブチームを核とした地域活性化

- トップクラブチームの応援機運の醸成
- トップクラブチーム等との連携による交流促進と地域経済の活性化
- トップクラブチームと連携した取組【1-1再掲】
- 環境の変化に応じた支援

新規

4 第79回国民スポーツ大会冬季大会の開催

- 大会の成功
- 本県の魅力を全国に発信する大会
- 今後の冬季大会のモデルを目指した大会
- 「スポーツ立県おかやま」の発展に資する大会

基本施策Ⅳ スポーツ環境の整備

～「ハード」「ソフト」「人材」の充実～

(具体的施策の方向性)

(今後の施策展開) ※「●」は新規または拡充

改題

1 指導者・ボランティアなど多様な人材の育成、活躍の場の創出

- 指導者の育成とその資質の向上【Ⅱ－3再掲】
- 障害者スポーツ指導者の育成・資質向上【Ⅱ－4再掲】
- スポーツ推進委員など地域でスポーツを支える人材への支援
- 障害者スポーツの指導者の養成【Ⅰ－4再掲】
- スポーツ施策担当者の専門性向上
- 広域スポーツセンターの機能充実【Ⅲ－1再掲】
- 大規模スポーツ大会等のボランティア活動への参加促進
- 障害者スポーツボランティアの参加推進【Ⅰ－4再掲】

2 スポーツ施設の機能の充実と活用の促進

- ユニバーサルデザインに配慮した県営スポーツ施設の計画的な改修等
- 施設のユニバーサルデザインによる誰もが使いやすい環境づくり
- スポーツ施設の安全確保の推進
- 県営スポーツ施設の稼働率の向上
- 学校施設の開放等
- オープンスペース等の活用
- 競技用器具の充実

新規

3 スポーツ界におけるDXの推進

- 多様な主体の平等なスポーツの実施を可能にするデジタル技術の活用
- デジタル技術を活用したアスリートの支援
- スポーツに係るデータの集約・解析等を実施するための体制づくり
- 県営スポーツ施設の稼働率の向上【Ⅳ－2再掲】

改題

4 誰もがスポーツに気軽に親しめる情報発信

- 誰もがスポーツに気軽に親しめる情報発信の充実
- 表彰制度の充実
- スポーツの価値の啓発

(2) 第2次岡山県スポーツ推進計画の策定スケジュールについて

年 月 日	概 要
R 4 年 7 月 7 日	令和4年度 第1回スポーツ推進審議会 県から審議会への諮問 骨子案の検討
11月2日	令和4年度 第2回スポーツ推進審議会 素案の検討
11月18日	パブリックコメント開始（概ね1か月）
12月17日	パブリックコメント締切
R 5 年 2 月初旬	令和4年度 第3回スポーツ推進審議会 審議会から県への答申
3月	計画の策定、公表

※上記は予定であり、変更する可能性があります。

第2次岡山県スポーツ推進計画（素案） 数値目標（案） （修正箇所朱書き）



多様な主体におけるライフステージに応じた運動・スポーツ活動の機会創出

No.	数値目標	策定時	目標値
1	成人男女の1週間に1日以上運動・スポーツをする割合	38.9% (R4年度)	55.0% (R9年度)
2	1週間の総運動時間数60分未満の児童生徒数の割合（※）	小5男子 8.6% 小5女子 14.7% 中2男子 7.4% 中2女子 17.7% (R3年度)	小5男子 4.3% 小5女子 7.4% 中2男子 3.7% 中2女子 8.9% (R9年度)
3	運動やスポーツをすることが好きな児童生徒数の割合（※）	小5男子 68.8% 小5女子 51.6% 中2男子 63.1% 中2女子 46.3% (R3年度)	小5男子 75.0% 小5女子 60.0% 中2男子 65.0% 中2女子 50.0% (R9年度)
4	新体力テストにおける総合評価C以上の児童生徒数の割合（※）	小5男子 64.6% 小5女子 70.8% 中2男子 68.4% 中2女子 84.6% (R3年度)	小5男子 80%以上 小5女子 80%以上 中2男子 85%以上 中2女子 85%以上 (R9年度)
5	障害者スポーツ・レクリエーション教室等の開催回数	年間 53 回 (R元年度)	年間 50 回以上 (R7年度)

※目標値は第4期岡山県障害者計画で設定

（※）政令指定都市である岡山市は、義務教育の実施に様々な権限を有し、それに基づいて岡山市の実態を踏まえた独自の教育施策を推進していますが、県スポーツ推進計画は、岡山県の全世代の県民を対象にしていることなどから、ここでは、岡山市も含んだ数値を目標としています。

基本施策

II

アスリートの育成と持続可能な指導・支援システムの構築

No.	数値目標	策定時	目標値
6	国民体育大会における天皇杯順位	16位 (R4年)	10位台 (R9年)
7	世界大会の出場者数	13人 (H30年～R3年(R2年を除く)の平均)	15人 (R7年～R9年の平均)
8	「岡山県アスリート就職支援事業」による 県内就職内定者	4人 (R3年度)	5人 (R9年度)
9	日本スポーツ協会公認スポーツ指導者登録 者数	2,876人 (R2年度)	3,200人 (R9年度)

基本施策

III

スポーツを通じたともに生き豊かさが実感できる地域の創造

No.	数値目標	策定時	目標値
10	地域課題に応える取組の推進として学校との連携を行っている総合型地域スポーツクラブの割合	34.3% (R3年度)	50% (R9年度)
11	「普段の生活の中で芸術・文化、スポーツ等を実践したり、観て楽しめる地域になっている」と感じている人の割合	26.2% (R3年度)	38.0% (R9年度)
12	国際スポーツイベント等誘致件数	2件 (R4年度見込)	2件以上 (R9年度)
13	トップクラブチームのホームゲームにおける観客動員数	111千人 (R3年度)	267千人 (R9年度)



スポーツ環境の整備

No.	数値目標	策定時	目標値
14	県営スポーツ施設利用者数	492千人 (R3年度)	1,847千人 (R9年度)
15	スポーツ情報ウェブサイト「おかやまスポーツナビ」のアクセス数	28,103件 (H30年度～R3年度の平均)	42,000件 (R9年度)

計画の体系 (見直し版)	項 目	数 値 目 標					備考	意見等	
		改訂版 策定時 (H30(2013))	改訂版		現 状 (直 近)	考 え 方			
			目標値 (R4(2022))	考 え 方		目標値 (R9(2027))			考 え 方
基本施策Ⅰ 多様な主体におけるライフステージに応じた運動・スポーツ活動の機会創出 数値目標：5									
1 子ども・若者の運動・スポーツ活動の推進									
2 働く世代・子育て世代・高齢期の運動・スポーツ活動の推進	成人男女の1週間に1日以上運動・スポーツをする割合 ■県の総合計画「新晴れの国おかやま生き生きプラン」の目標値(以下「生き生き指標」) 【変更】成人男女の1週間に1日以上運動・スポーツをする割合 ■県の総合計画「第3次晴れの国おかやま生き生きプラン」の目標値(以下「生き生き指標」)	49.1% (28年度)	52% (2年度)	生き生き指標(2年度 52.0%)に準じた。	59.5% (2年度)	変更	スポーツ庁が実施する「体力・運動能力調査」をもとに本県独自の計算方法により算出した数値から、「県民満足度調査」の結果に変更	スポーツ振興課	
		-	-	-	38.9% (4年度)	55.0% (9年度)	生き生き指標(R6目標値、同左)を参考に設定(生き生き指標の見直し等があった場合は、本計画の数値目標も見直す。)	スポーツ振興課 (岡山県「県民満足度調査(附帯調査)」)	
	成人の1日の歩数 (1)20～64歳 (2)65歳以上	男性8,068歩 女性6,520歩 (28年度)	男性9,000歩 女性8,500歩 (4年度)	健康おかやま21セカンドステージとの整合性を図った数値	男性8,068歩 女性6,520歩 (28年度)	削除	5年に1回の調査(H28、R3、R8・・)であることから、本計画において進捗状況を確認することができないため削除	健康推進課 (岡山県第2次健康おかやま21)	

計画の体系 (見直し版)	項 目	数 値 目 標					備考	意見等	
		改訂版 策定時 (H30(2013))	改訂版		現 状 (直 近)	第2次計画			
			目標値 (R4(2022))	考え方		目標値 (R9(2027))			考え方
3 学校における 体育・スポーツ活動の充実	1週間の総運動時間 数60分未満の児童 生徒数の割合	小5男子5.7% 小5女子10.5% (28年度)	小5男子5.0% 小5女子8.5% (4年度)	4年度に22年度の 半減を目指すこと とした数値(28年度 は、そのほぼ中間 値)	小5男子8.6% 小5女子14.7% (3年度)	小5男子4.3% 小5女子7.4% (9年度)	保健体育課 (スポーツ庁・運 動能力、運動 習慣等調査)	「政令指定都市である岡山市は、 義務教育の実施に様々な権限を 有し、それに基づいて岡山市の実 態を踏まえた独自の教育施策を推 進していますが、県スポーツ推進 計画は、岡山県の全世代の県民を 対象にしていることから、ここ では、岡山市も含んだ数値を目標 としています。」と欄外記載する。	
	【新規】 運動やスポーツをす ることが好きな児童 生徒数の割合 ■ 生き生き指標	中2男子7.1% 中2女子20.7% (28年度)	中2男子5.0% 中2女子18.2% (4年度)		小5男子68.8% 小5女子51.6% (3年度)	小5男子75.0% 小5女子60.0% (9年度)	保健体育課 (スポーツ庁・運 動能力、運動 習慣等調査)	「政令指定都市である岡山市は、 義務教育の実施に様々な権限を 有し、それに基づいて岡山市の実 態を踏まえた独自の教育施策を推 進していますが、県スポーツ推進 計画は、岡山県の全世代の県民を 対象にしていることから、ここ では、岡山市も含んだ数値を目標 としています。」と欄外記載する。	
	新体力テストにおけ る総合評価D及びE の児童生徒の割合	小5男子27.7% 小5女子23.3% (28年度)	小5男子25.0% 小5女子21.0% (4年度)	パブコメ意見を受 けて追加した数値 目標	小5男子35.5% 小5女子29.1% (3年度)	中2男子65.0% 中2女子50.0% (9年度)	保健体育課 (スポーツ庁 「全国体力・運 動能力、運動 習慣等調査」)		
		中2男子24.2% 中2女子11.2% (28年度)	中2男子21.8% 中2女子10.0% (4年度)		変更				

計画の体系 (見直し版)	項 目	数 値 目 標					備 考	意見等	
		改訂版 策定時 (H30(2013))	改訂版		現 状 (直 近)	第2次計画			
			目標値 (R4(2022))	考え方		目標値 (R9(2027))			考え方
4 障害のある 人の運動・ス ポーツ活動の 推進	【変更】 新体力テストにおけ る総合評価C以上の 児童生徒数の割合	-	-	小5男子64.6% 小5女子70.8% (3年度)	小5男子 80%以上 小5女子 80%以上 (9年度)	第3期スポーツ基本計画(R4 ～R8)に倣い、児童80%以 上、生徒85%以上を目標 とする。	保健体育課 (スポーツ庁 「全国体力・運 動能力・運動 習慣等調査」)	「政令指定都市である岡山市は、 義務教育の実施に様々な権限を 有し、それに基づいて岡山市の実 態を踏まえた独自の教育施策を推 進していますが、県スポーツ推進 計画は、岡山県の全世代の県民を 対象にしていることなどから、ここ では、岡山市も含んだ数値を目標 としています。」と欄外記載する。	
	障害者スポーツ教室 への参加者数	年間1,105人 (28年度)	年間1,200人 (4年度)	第3期岡山県障害 者計画(28～2年 度)の数値目標に 準じ設定	年間297人 (3年度)	変更	障害福祉課 (岡山県障害者 計画)		
	【変更】 障害者スポーツ・レ クリエーション教室等 の開催回数	-	-	年間53回 (元年度)	年間50回以上 (7年度)	第4期岡山県障害者計画 (R3～R7)の数値目標(同 左)を設定(同計画がR7まで のため、目標値の終期を7年 度とする。)	障害福祉課 (岡山県障害者 計画)	注釈で「目標数値は、第4期岡山 県障害者計画で設定」と記載する。	

計画の体系 (見直し版)	項 目	数 値 目 標					備考	意見等	
		改訂版 策定時 (H30(2013))	改訂版		現 状 (直 近)	第2次計画			
			目標値 (R4(2022))	考え方		目標値 (R9(2027))			考え方
基本施策Ⅱ アスリートの育成と持続可能な指導・支援システムの構築 数値目標：4									
1 アスリート の育成・強化	国民体育大会にお ける天皇杯順位 ■生き活き指標	16位 (29年)	10位台 (4年)	本県人口規模から は高いが、岡山県 体以降の成績も勘 案して設定	16位 (4年)	10位台 (9年)	本県人口規模からは高い が、恒常的に全国上位の競 技力を維持することを旨し て設定	スポーツ振興 課	
	全国高等学校総合 体育大会の入賞数	84 (28年度)	60台 (4年度)	近年の実績を踏ま え、過去最高水準 で設定	57 (3年度)	削除	今後、学校の運動部活動が 学校単位から地域単位での 活動に変わることが考えら れ、大会の参加資格等も変 更する可能性があることから 削除。	保健体育課	
	【新規】 世界大会の出場者 数	—	—	—	13人 (30年～3年(R2 を除く)の平均)	15人 (7年～9年 の平均)	岡山県ゆかりの選手がオリ ンピック、パラリンピック、最 も権威ある世界大会に出場 した人数の過去5年間の平 均(11.8人)を勘案して設 定。対象となる世界大会が 隔年や4年ごとの開催となる 競技もあるため、目標は3年 間の平均とする。	スポーツ振興 課	
2 アスリート 育成・バスウェ イの構築	【新規】 「岡山県アスリート就 職支援事業」による 県内就職内定者	—	—	—	4人 (3年度)	5人 (9年度)	過去5年間(H29～R3)の内 定者平均(3人)を勘案して設 定	スポーツ振興 課	
3 指導者の 育成・資質向 上	【新規】 日本スポーツ協会公 認スポーツ指導者登 録者数	—	—	—	2,876人 (2年度)	3,200人 (9年度)	過去10年間(H24～R2)の登 録者数を勘案して設定	スポーツ振興 課	
4 障害者アス リートの育成と 支援体制の構 築									
5 アスリート の安全・安心 の確保	【新規】 日本スポーツ協会公 認スポーツ指導者登 録者数	—	—	—	2,876人 (2年度)	3,200人 (9年度)	過去10年間(H24～R2)の登 録者数を勘案して設定	スポーツ振興 課	

計画の体系 (見直し版)	項 目	数 値 目 標					備考	意見等
		改訂版		現 状 (直 近)	第2次計画			
		改訂版 策定時 (H30(2013))	目 標 値 (R4(2022))		考 え 方	目 標 値 (R9(2027))		
基本施策Ⅲ スポーツを通じたともに生き豊かさが実感できる地域の創造 数値目標：4								
1 地域と連携した運動・スポーツ活動の推進による共生社会の実現	PDCAサイクルにより運動の改善等を図る総合型地域スポーツクラブの数	11クラブ (28年度)	30クラブ (4年度)	国第2期計画の目標値(70%)を参酌し、県内43クラブの70%程度とする。	15クラブ (3年度)	変 更	総合型クラブに係る第3期スポーツ基本計画(R4～R8)の具体的な施策が「総合型クラブの登録・認証制度を47都道府県で運用開始」とされたため	スポーツ振興課
	【変更】 地域課題に応える取組の推進として学校との連携を行って、総合型地域スポーツクラブの割合	—	—	—	34.3% (3年度)	50% (9年度)	スポーツ庁が実施する「総合型地域スポーツクラブに関する実態調査」による全国(R3:46.2%)と本県(R3:34.3%)の割合をもとに数値目標を設定	スポーツ振興課
	「普段の生活の中で芸術・文化、スポーツ等を実践したり、親で楽しめる地域になっている」と感じている人の割合	30.6% (29年度)	38.0% (4年度)	生き活き指標(2年度 38.0%)に準じた。	26.2% (3年度)	38.0% (9年度)	生き活き指標からは削除されているが、当初の目標値(R4:38.0%)を目指す。	スポーツ振興課 (岡山県「県民満足度調査」)
2 大規模スポーツイベント、合宿等を通じた地域活性化	地域スポーツコミッションの数	2団体 (29年度)	6団体 (4年度)	年間1団体程度の増加	4団体 (3年度)	削 除	東京大会を前提とした数値目標であり、一定の成果があったため削除	スポーツ振興課
	ナショナルチームキャンプ等誘致件数	5件 (28年度)	25件 (30～4年度)	年間平均5件	9件 (3年度)	変 更	東京大会を前提とした数値目標のため変更	スポーツ振興課
	【変更】 国際スポーツイベント等誘致件数	—	—	—	2件 (4年度見込)	2件以上 (9年度)	毎年度2件以上の誘致を目指すこととする。	スポーツ振興課 (「Catch the Dream・スポーツ大会誘致事業」等)

計画の体系 (見直し版)	項 目	数 値 目 標					備考	意見等	
		改訂版 策定時 (H30(2013))	改訂版		現 状 (直 近)	第2次計画			
			目標値 (R4(2022))	考え方		目標値 (R9(2027))			考え方
	東京オリンピック・パラリンピックに向けた文化プログラムの件数	—	2,000件 (29～2年度)	2年度までに、東京オリンピックに向けた「文化プログラム」として実施するイベント数の目標が、全国で20万件であることから、このうち地方での実施を半分の10万件と見込み、人口比として本県の割合の約2%を乗じたものの	1,246件 (3年度)	削除	東京大会を前提とした数値目標であり、一定の成果があったため削除	スポーツ振興課 文化振興課	
3 トップクラブチームを核とした地域活性化	トップクラブチームのホームゲームにおける観客動員数 ■ 生き生き指標	248千人 (28年度シーズン)	273千人 (4年度シーズン)	過去の伸び率や収容人数等を勘案し、1.1倍程度	111千人 (3年度)	267千人 (9年度)	新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の水準(243千人)の1.1倍程度とする。(1.1倍:過去の動員数や収容人数等を勘案した数値)	スポーツ振興課	
4 第79回国民スポーツ大会冬季大会の開催									

計画の体系 (見直し版)	項 目	数 値 目 標					備考	意見等	
		改訂版 策定時 (H30(2013))	改訂版		現 状 (直 近)	第2次計画			
			目標値 (R4(2022))	考え方		目標値 (R9(2027))			考え方
基本施策Ⅳ スポーツ環境の整備 数値目標：2									
1 指導者・ボランティアなど 多様な人材の育成、活躍の場の創出	「障がい者スポーツ指導員」養成人数	年間23人 (24～28年度の平均)	年間30人 (4年度)	第3期岡山県障害者計画(28～32年度)の数値目標に準じ設定	年間21人 (3年度)	削除	第4期岡山県障害者計画(R3～R7)の数値目標から削除されていることによる。	障害福祉課	
2 スポーツ施設の機能の充実と活用の促進	県営スポーツ施設利用者数	1,990千人 (28年度) ※高校総体	1,930千人 (4年度)	28年度は高校総体があったため、平成27年度(1,754千人)を基準に、1割程度の増を目指す。	492千人 (3年度)	1,847千人 (9年度)	H30(1,735千人)とR元(1,623千人)の平均(1,679千人)を基準に、1割程度の増を目指す。	スポーツ振興課 都市計画課	
	学校体育施設の開放率	屋外運動場78% 体育館89% 武道場59% (27年度)	屋外運動場85% 体育館91% 武道場60% (3年度)	全国平均を上回っていること、現状は、計画策定時と同程度であることから、元計画と同じ目標値とする。	屋外運動場78% 体育館89% 武道場59% (30年度)	削除	継続的に全国平均を上回り有効活用が促進されていること、3年に1回の調査であることから削除	保健体育課 (スポーツ庁「体育・スポーツ施設現況調査」※H30実績のみ学校体育施設設置等状況調査(R1.5月時点)	
3 スポーツ界におけるDXの推進									
4 誰もがスポーツに気軽に関われる情報発信	スポーツ情報ウェブサイト「おかやまスポーツナビ」のアクセス数	21,689件 (28年度)	40,000件 (4年度)	現状の倍増を目指す。	28,103件 (30年度～33年度の平均)	42,000件 (9年度)	過去4年(H30～R3)の平均(28,103件)を基準に、1.5倍程度の増を目指す。(R3は東京大会によるアクセス増)	スポーツ振興課	

第2次岡山県スポーツ推進計画(素案)ご意見への回答

※下記のページは、すべて素案(見え消しver.)のものです。

※各委員からのご意見により、素案本文を修正・追記した部分を赤字にしています。(取消線は削除部分です。)

	ご意見	回答	担当課
基本施策Ⅰ 多様な主体におけるライフステージに応じた運動・スポーツ活動の機会創出			
1 子ども・若者の運動・スポーツ活動の推進			
●子どもにとって適切なスポーツ環境の確保に向けた取組の推進			
1	P.15 P.21 2行目の「運動部活動改革」の文言は、広い範囲のこととなるので、もう少し絞って「(運動部活動の)地域移行」の方が良いのではないか。	次の通り修正します。 ・スポーツ庁に設置された「運動部活動の地域移行に関する検討会議」で提言された改革の方向性・方策に基づき、運動部活動改革地域移行を着実に進めていきます。	スポーツ振興課 保健体育課
2	P.15 P.21 これまでは義務教育で守られてきたが、地域移行でスポーツをする権利を失う子どもや、所得格差により地域での活動に参加できない子どもをどうフォローしていくか、どこが環境整備をするか、という視点を盛り込んでほしい。 企業の参画(企業からの支援)という視点について考えることも大切である。 確実に取り組むことや参画主体がどこになるかは書き込めばよい。	【基本施策Ⅰ】の「今後の施策展開の方向」の項目順を変更し、素案P.15(再掲P.21)のとおり追記修正します。 (修正前) ●広域スポーツセンター、総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団や民間スポーツクラブ等との連携 ●トップクラブチームと連携した取組 ●スポーツ少年団の活性化 ●子どもにとって適切なスポーツ環境の確保に向けた取組の推進 (修正後) ●子どもにとって適切なスポーツ環境の確保に向けた取組の推進 ●広域スポーツセンター、総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団や民間スポーツクラブ等との連携 ●トップクラブチームと連携した取組 ●スポーツ少年団の活性化	スポーツ振興課、 保健体育課
●スポーツ少年団の活性化			
3	P.16 「多くの」という言葉が、「スポーツ少年団」にかかると、「指導者」にかかるとのかわかりにくいので「スポーツ少年団での指導を望む多くの指導者の資格取得・資質…」が良いのではないか。	次の通り修正します。 ・県スポーツ協会には、……多くのスポーツ少年団での指導を望む多くの指導者の資格取得・資質向上等に努めることが期待されます。	スポーツ振興課

	ご 意 見	回 答	担当課
3 学校における体育・スポーツ活動の充実 (1)子どもの体力向上に向けた取組 ●体育授業の充実・改善と教員の指導力の向上			
4	P.20 下から7行目に「する」「みる」「ささえる」「知る」となっていますが、「知る」だけが漢字で他はひらがなの理由は何か。	学習指導要領に合わせて、次のとおり修正します。 ・令和2(2020)年度から順次実施している小学校、中学校及び高等学校学習指導要領を念頭に、児童生徒の体力や技能の状況、性別及び障害の有無等に関わらず、自己の適性等に応じた「する」「みる」「ささえる」「知る」「 する・みる・支える・知る 」の多様な関わり方と関連付けて、……図ります。	保健体育課
4 障害のある人の運動・スポーツ活動の推進 (1)障害者スポーツへの理解と参加機会の確保			
5	P.22 日本障がい者スポーツ協会、障がい者スポーツ指導員、障がい者スポーツ指導者連絡協議会は「障がい者」で、他は「障害」「障害者」となっている理由は何か。	・「障害」の「害」の字の表記については、平成20年度岡山県障害者施策推進審議会において、固有名詞等変更が困難なものは表記を変更せず、人を表す場合の「障害者」という表記は、「障害のある人(方)」とすることに対して合意を得ているところです。 「現状と課題」2つ目及び4つ目を次の通り修正します。 ◆県が実施した…アンケート調査…の結果によると、障害者 のある人 (成人)の……。 ◆健常者と障害者 のある人 とない人のスポーツを可能な限り一体のものとして捉え、……課題となっています。 ・「日本障がい者スポーツ協会」は、「日本パラスポーツ協会」に名称変更したため修正します。障がい者スポーツ指導員は固有名詞のため、「障がい」の表記としています。	障害福祉課
基本施策Ⅱ アスリートの育成と持続可能な指導・支援システムの構築			
1 アスリートの育成・強化			
6	P.25 「現状と課題」4つ目 中学と高校のバランスをとった方が良いのであれば、「令和4年度全国中学生体育大会21の入賞と3位以内13を果たしました。」と付け加えても良いのではないか。	当該記載を全削除します。 ◆全国中学校体育大会や全国高等学校総合体育大会(インターハイ)でも目覚ましい活躍を見せていますが、……令和4年度全国高等学校総合体育大会では56の入賞を果たしました。	スポーツ振興課
5 アスリートの安全・安心の確保			
7	P.30 「安全・安心」のベースとして、スポーツ・インテグリティの普及、フェアネスがある。それについて、もう少し大もとのところを書き込んでほしい。	「現状と課題」5つ目に以下を追記します。 ◆アスリートの安全・安心の確保はもちろん、スポーツの価値を誰もが享受できるよう、スポーツ・インテグリティ(誠実性・健全性・高潔性)を高め、クリーンでフェアなスポーツの推進に一体的に取り組む必要があります。	スポーツ振興課

	ご 意 見	回 答	担当課
基本施策Ⅲ スポーツを通じたともに生き豊かさが実感できる地域の創造			
1 地域と連携した運動・スポーツ活動の推進による共生社会の実現			
8	P.32 「現状と課題」2つ目 「21市町村に44団体」となっているが、「21市町村に43団体」で準備クラブが1である。それから、「団体」ではなく、「クラブ」にしてはどうか。 また、「学校運動部活動との連携に取り組むクラブも多くあります」となっているが、多くとはどの位か。このように書くと、既に部活動改革に関わっているクラブがあるように取られるので、「多くあります」→「あります」にしてはどうか。	次の通り修正します。 ◆県内には、令和4年(2022)年4月7月末時点で、21市町村に44団体43クラブがあります。地域における運動・スポーツの担い手であるとともに、学校運動部活動との連携、スポーツを通じたまちづくりへの参画など、地域課題の解決や活性化に取り組むクラブも多くあります。	スポーツ振興課
数値目標			
スポーツ情報ウェブサイト「おかやまスポーツナビ」のアクセス数			
9	No.15 策定時より減少するので、せめて46,000件でいかがか。	「現状」を次のとおり修正します。 (修正前) 45,474件(3年度) (修正後) 28,103件(30年度～3年度の平均)	スポーツ振興課